

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

★親子教室 (☎96-4551・FAX 22-9881)

- 1歳6カ月～2歳5カ月 7日(火)
- 2歳6カ月以上 14日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 2日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 9日(木)

★ツインズ・デー 10日(金)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要。

市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎FAX 24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 10日(金)
- 1歳半～2歳 3日(金)・17日(金)
- 2歳～2歳半 8日(水)
- 2歳半～3歳 1日(水)・15日(水)
- 3歳～3歳半 7日(火)
- 3歳半以上 14日(火)

※いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要。
(受付時間は午前9時30分～9時50分)

河北子育て支援センター

★あそびのひろば (飯野川保育所内 ☎61-1601・FAX 62-2359)

支援センターに来て遊びませんか。

毎週月・水・木曜日 利用時間は、午前10時～午前11時30分

今月の行事は次のとおりです。

- 2日(木) ひなまつり会
- 8日(水) 子育て座談会
- 16日(木) お別れ会(要 参加申し込み)
- 22日(水) リズムに乗って楽しもう

秋に植えたチューリップの芽が出ていますよ！探してね！
※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。
お気軽にご利用ください。

月曜日～金曜日 午前9時30分～正午 午後1時～5時
土曜日 午前9時30分～正午

子育てアドバイス 3

母子手帳の活用を

なかよし保育園 園長 大橋 巳津子



妊娠がわかって発行される母子手帳、出産までは産婦人科とつながり、出産後は健診や予防接種の度に小児科や保健師さんにつながる小さな手帳。妊娠、出産、生後の状態を雄弁に物語っています。この手帳、ぜひ活用してください。お子さんと外出の際は保険証、診察券と一緒に携帯しましょう。外出先での不意の事故や発熱のとき役立ちます。身長体重を計ったとき、身長体重のグラフに書き込むとお子さんの成育状況がわかりますし、そのとき気になったことなど、記録を元に相談すると適切なアドバイスが受けられます。病気や火傷、ケガなども記録し

雄勝地区子育て支援 (雄勝総合支所保健福祉課 ☎57-3611)

★母子センター開放日

13日(月) 午前10時～11時30分

作って遊ぼう「親子体操してみよう」※参加無料

お母さん同士お子さん同士の交流の場です。お気軽にご参加ください！

河南子育て支援センターパプラ (☎FAX 72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)

農村環境改善センター 2階(パプラ)午前9時30分～11時30分

- 0、1歳親子 7日(火) 絵本の読み聞かせ
- 14日(火) サロントーキング
- 2歳以上親子 2日(木) おひなさまを作ろう
- 9日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
- 16日(木) スクエアおわかれ会



親子の上靴・おやつ・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談……ひとりで悩まないで！

★子育てひろばスクエア『おわかれ会』のご案内

早いもので、今年度最後の行事となりました。今年子育てひろばを修了する親子さんや来年度も更新する親子さん、すべてのスクエア会員の皆さんと共に、この1年の成長をお祝いしたいと思います。今までスクエアの行事に参加された方は、できる限りご出席ください。

と き 3月16日(木) 午前9時45分受付開始

ところ 農村環境改善センター(多目的ホール)

参加費 1家族300円

持ち物 上履き・おやつ・我が子へのメッセージ
(カードはパプラにあります。)

申込方法 パプラに会費を添えて、3月10日(金)まで申し込みください。

桃生地区子育て支援 (桃生保健センター ☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター

1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 神取いきいき交流センター と き 14日(火)午前9時30分～

★子育て電話相談 6日(月)

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区子育て支援 (北上保健センター ☎67-2301)

★ひまわりキッズ

9日(木) 午前10時～11時30分

★ひまわりキッズフリー 23日(木) 午前10時～11時30分

ておくと良いですね。小・中・高校の入学時お子さんの既往歴を記入する際に参考になります。

お子さんが小さいほど頻繁に使った母子手帳も大きくなるにつれ開くこともなくなります。お子さんの歴史が刻まれた母子手帳、フィニッシュは結婚のはなむけに持たせたらどうでしょう。「お母さんはもちろん、いろんな人が大事に育てたんだよ」と言って。次の世代へのバトンタッチとなりますように。

表紙から

2月5日もしくは2月10日が初午にあたる年に行なわれる、伝統の「釜谷の水かぶり」が、2月10日(金)、15年ぶりに行なわれました。

釜谷地区から選ばれた若者4人が、各戸の門口に用意してある桶の水を頭からかぶりながら目抜き通りを駆け抜けました。無火災を祈る火伏せ祭りとして、来年も行なわれます。(シユウ)

編集後記

皆さんはこの冬、インフルエンザや風邪は大丈夫でしたか？
3月という声を聞くと、「もうすくはるですわねえ〜♪」(何、古い?)という感じ。市報づくりもあたたか〜い気持ちで、愛されるようがんばります。
でも個人的には、2月に胃カメラを初体験。(異状なしでしたけど)。厄年のわたしとしては、「来たか厄が…」という感じでしたね。
そんな訳で、今年は第一に健康に気を付けます。皆さんもね。(⊕)

石巻市の人口と世帯数

平成18年2月1日現在
()内は昨年同月比

♂	82,295人(-1,018人)	♀	87,859人(-928人)
♂♀	170,154人(-1,946人)	🏠	59,181世帯(+268世帯)

脇谷 閘門・洗堰・水門

石巻市文化財保護委員 石垣 宏

明治時代の河川改修は、一八七八(明治十二)年から野蒜築港と北上・東名運河の掘削、石井閘門の築造、そして一八八〇(明治十三)年からの北上川低水路工事でした。この時代になっても北上川水運に重要性が置かれ、船の航路を確保する工事が一九〇二(明治三五)年まで続きました。この工事では、船の航路確保が目的で、洪水対策や農業用水の確保の計画はなかったのですが、一八八七(明治二〇)年、鉄道が仙台まで、九〇年に、盛岡まで、さらに翌年青森まで開通すると、北上川の舟運は衰退し始めたのです。

一九一〇(明治四三)年八月に豪雨があり、北上川をはじめ県内の諸河川が洪水となり、これを契機に北上川などの改修工事が始まることとなりました。北上川を本川として、柳津町(登米市津山町)と飯野川間一二キロメートルを、新川を開削して放水路とし、洪水は新川および追波湾に流下させることとして必要な施設の建設を開始しました。一九三四(昭和九)年に全施設が完成していましたが、途中の一九三一(昭和六)年三月一二日に分水式が行われ、新旧二つの河口をもつ北上川となったのです。

新川掘削によって柳津町が移転させられることになりました。『津山町史』には、戸数三〇八戸、人口一、八四八人、山林・田畑一四六町歩などが移転対象で、一九一〇(大正九)年、最初に柳津小学校が移転して、これを中心に町割りを決め、道路

は自動車の普及と防災の見地から現在の幅とし、民家の移転は一日十軒ずつ移動させ、大正一二年に移転を終了しました。新川掘削の犠牲となったといえましょう。その直後から新川の掘削が始まり、新川から旧北上川への分流の地に鶴波洗堰・脇谷閘門・水門・洗堰が設置され、飯野川には、飯野川可動堰(北上大堰設置後に撤去)が建設されました。この施設によって、北上川の分水は、新川へ八五分、旧川へ十五分流れることになったのです。

分流点に閘門を設け、船の航路を確保するための施設が脇谷閘門で、旧川の平水流量維持のための施設が脇谷洗堰・水門、鶴波洗堰です。脇谷洗堰は、幅二・六五メートル、長さ九メートルのコンクリート六門、上部は溢流部で、右一門は魚道閘門は全長七三メートルで、前後の扉の開閉で船を通過させました。一九二五(大正一四)年に着工、一九三二(昭和七)年に完成。閘門を通過した船数は、最近発見された資料によりますと、開設後から一九四五年まで四万四千隻余で、開設年には五千隻を越えていました。四六年から五七年までは六千七百隻が上下しています。通過した船は、石油発動機船の賛成丸・寿丸・信用丸・吉田丸・石巻丸・亀岡丸・登丸など三十八隻、ほかに和船や筏があり、貨物は木材・薪・炭・砂利・石材などが積まれ、下り船は岩手県から石巻港、塩釜行きが多かったようです。

これらの施設は建設後、七十余年が経過し、安全性や機能が不十分なので、この施設を活用しながら、不足する機能を補う水門工事が現在進行中です。この分流施設は、近代土木技術のはじめで、「試行錯誤のうえ築造した記念碑的な土木施設」であり、極めて文化的価値が高く、二〇〇四(平成十六)年に土木学会選奨土木遺産に認定されました。登米市との境にあるこれらの施設が、国の重要文化財に指定されることを願ってやみません。



左から 脇谷水門・閘門・洗堰 (市内桃生町)

小さな美術館

5

三人姉妹

女性をモデルにした油絵の作品です。3人のめいガグアム旅行に行ったときの写真を何枚か組み合わせ、そこからイメージしてかいてみました。

絵を始めたのは20年以上も前になりますが、通信講座のいくつかある講座の中から油絵を選び、半年間勉強したのがきっかけでした。

以前は東京に住んでおり、13年前に鮎川に移ってきました。油絵のほかにゴルフを趣味としていましたが、鮎川に来てからはガーデンングや剣道も経験し、今は読書や水泳などを続けています。

「趣味は、思い立ったときに始める。そのときが一番夢中になれる」と思っています。これからは絵をはじめいろいろなおもしろさを自分の思うままに楽しんでいきたいと思っています。



林 敬子さん (鮎川浜)

